

平成一七年 各会派の 基本方針

(10-11面)

自由民主党

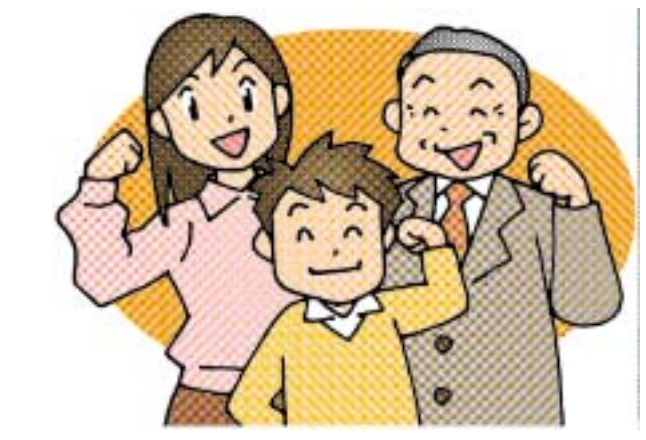


党支部長
茨城県議会連合会
山口 武平

新年明けましておめでと
うございます。
さて、経済環境は依然と
して厳しい状況にあり、あ
らゆる施策を講じ活力ある
商工業・農業等産業の再生
と雇用の創出は政治の重要
課題であります。

平成一八年度を初年度と
する新たな県総合計画につ
いては、経済・社会の動向
や県政課題に的確に対応
し、夢と希望の持てるよう
策定を図ってまいります。
これ等の基礎となるもの
が人口動態であり、人口減
少問題は最重要課題とし
て、党内に「少子化問題懇
談会」を設置し、万全な対
策を講じてまいります。

昨年、家族や幼児殺
害、オレオレ詐欺等痛まし
い事件・犯罪が相次ぎまし
た。わが党が提言した一一
月の「いばらき教育の日」



昨年、
地球温暖化
の影響とい
われる異常

気象が多発し、多くの方が
被災されました。資源循環
型社会を促進し、地球にや
さしい環境対策を進めま
す。
地方分権を確立するため
三位一体改革、市町村合併
は今後も進めなければなり
ません。又、県や出資団体
の一層の合理化等、行財政
改革を進め財政の効率化・
健全化を図ります。

二一世紀
のいばらき
福祉の郷づ
くりととも
に、県北地
区における
中核病院の
整備、県立
病院の経営
健全化も喫
緊の課題と
して取り組
みます。

市町村合併に伴う 新生活圏づくり 調査特別委員会

これまでに二二回の委員
会を開催し、市町村合併に
関する議案の審査及び合併
後の新たな地域づくりへ向
けた諸方策のあり方につい
て精力的に調査を進めてい
ます。



昨年一〇月一九日の第九
回委員会では、合併後の地
域づくりへ向けた施策の方
向について審議を行いました。
一二月一六日の第一〇回
委員会では、施策の方向に
基づく具体的な施策につい
て審議を行い、委員からは
橋本知事に申し入れを行
う海野議長と青木委員長

重点的に取り組むべき 施策を知事に申し入れ

は、合併特例債の活用によ
る元気なまちづくりの推進
や住民の意見反映のために
設置される地域審議会の適
切な活用など活発な質疑応
答が交わされました。
審査の結果、いずれの議
案も適切なものと本会議に

報告し、原案のとおり可決
されました。
同じ一二月一三日に開催
された第一二回委員会
は、これまでの調査経過、
並びに合併後の県行政や新
たな地域づくりのあり方等
についての中間報告をとり
まとめ、第四回定例会閉会
日の一六日に
は、委員長から
議長に報告を行
いました。ま
た、同日には、
中間報告を踏ま
え来年度から重点的に取り
組む必要がある施策につい
て、議長から知事に申し入
れを行いました。
【平成一七年度重点的に取
り組まれない諸方策】

- 一、県が担うべき施策
広域的・専門的・先導
的な施策
- 二、市町村を支援する施策
合併効果の早期かつ確
実な発現と連携・調整
へ向けた施策/行政サ
ービス水準の格差の解
消に向けた施策/地域
コミュニティ再生へ向
けた施策

新たな県総合計画 調査特別委員会

改定期を迎えた新たな県
総合計画の基本的な方向の
あり方を調査するため、第
三回定例会で設置された
「新たな県総合計画調査特
別委員会」は、これまでに
三回の委員会を開催しまし
た。その概要は次のとおり
です。

一〇月二八日に開催され
た第一回委員会では、委員
会の調査目的や、調査項
目、活動計画などを決定す
るとともに、総合計画を所
管する企画部から、これま
での総合計画の変遷と果た

してきた役割、新県総合計
画の策定スケジュールにつ
いて説明が行われました。
委員からは、
総合計画の役
割やあり方
について、「県
政の基本的な
方向をしっかりと
り立てる必要がある」、「
夢のある政治的な発想を
織り込んだものとするべ
き」、「市町村計画に反映
できる計画づくりが課題で
ある」など数多くの意見が
出されました。

県民に夢と希望を与える 計画づくりを審議

く、茨城の「強み」を生か
した戦略的な地域づくりが
重要であるとの意見があり
ました。また、全国総合計
画を所管している国土交通
省国土計画局長の尾見博武
氏からは、新たな国土計画

は、基盤整備そのものでは
なく、それらの活用を通じた
国民生活の安全、安心、安
定の確保といったものへ目
標の置き方が変わってくる
との意見がありました。本
県の商工労働部長としても
活躍された経済産業省経済
産業政策局長の北畑隆生氏

からは、社会経済の動向を
踏まえた本県の産業振興政
策のあり方について、つく
ばのハイテクを産業化する
政策が要であり、また、日
立のものづくり、県北の観
光などを生かした地域再生
を行う予定です。

に取り組むべきであるとの
意見がありました。
第四回定例会中の一二月
一五日に開催された第三回
委員会では、企画部、知事
直轄、生活環境部、保健福
祉部を対象に、現計画の現
状と課題、今後重要と思わ
れる政策展開の方向につい
て、質疑応答が行われ、
「県民に読んでもらえる計
画づくりが大切」、「霞ヶ
浦浄化は大きな課題」など
の意見が出されました。
今後は、基本的な方向の
あり方について審議を進
め、平成一七年第二回定例
会において、県民に夢と希
望を与える指針性のある総
合計画となるような提言を
盛り込んだ調査結果の報告
を行う予定です。